

下痢・嘔吐の対応

*感染予防のため適切な処理と手洗い（液体石けんを用いて流水で30秒以上実施）をしっかりと行う

*繰り返す下痢、嘔吐、発熱等の症状があるときは、別室で保育する

1) 嘔吐の対応・ケア

① 何をきっかけに吐いたのか（咳で吐いたのか、吐き気があったのかなど）確認する

② 感染症が疑われるときには、応援保育士を呼び他児を別の部屋へ移動する

③ 吐物を覆い嘔吐した児の対応にあたる

・うがいのできる子どもはうがいをさせる

・うがいのできない子どもは口内に嘔吐物が残っていれば、見えている嘔吐物を丁寧に取り除く

・嘔吐しないか様子を見る

④ 嘔吐物の処理後・病児のケア後は液体石けんを用いて流水で30秒以上手洗いを行う

⑤ 別室で保育しながら、保護者の迎えを待つ

⑥ 寝かせる場合は、嘔吐物が気管の入らないように体を横向きに寝かせる

⑦ 30分後くらいに吐き気がなければ、様子を見ながら経口補水液等を少量ずつ頻回に飲ませる

嘔吐物の処理方法

① 嘔吐物の処理をするときは、必ず使い捨ての手袋・マスク・エプロン（袖付きが望ましい）を着用して直接ふれないようにする

② 嘔吐物を外側から内側に向かって静かに使い捨ての布やロールペーパーなどで覆い拭き取り、ビニール袋に入れ、周囲を汚さないように移動して廃棄する

③ 嘔吐した場所を使い捨ての雑巾で汚れた場所を消毒 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で消毒する

④ 換気を行う

⑤ 作業が終わったら手洗い（液体石けんを用いて流水で30秒以上実施）を十分に行う また、状況に応じて、処理時に着用していた衣類の着替えを行う

⑥ 汚染された子どもの衣服は、汚れを落とし、0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液に10分間浸し、水洗いする。色物や柄物などは85°Cの熱湯で1分でも効果がある。消毒後は、他の物と分けて最後に選択する。

*汚れがひどい場合は処分する

（吐物の処理グッズ）

・使い捨て手袋 ・使い捨てマスク ・使い捨て袖付きエプロン ・ビニール袋 ・使い捨て雑巾 ・次亜塩素酸ナトリウム液

2) 下痢の対応・ケア

*おむつ交換は決められた場所で行う

- ① 下痢を処理するときは必ず使い捨ての手袋・マスク・エプロン（袖付きが望ましい）を着用して直接ふれないようにする
- ② 使い捨ておむつ交換専用シートを敷き、取り替える
- ③ お尻がただれやすいので頻回に清拭する
- ④ 沐浴槽等でのシャワーは控える
- ⑤ 汚れ物はビニール袋に入れて処理する
- ⑥ 便の処理後は液体石けんを用いて流水で30秒以上手洗いを行う

（便の処理グッズ）

- ・使い捨て手袋 ・ビニール袋 ・おむつ交換専用シート ・次亜塩素酸ナトリウム液
- ・使い捨てマスク ・使い捨てエプロン

*次亜塩素酸ナトリウムの希釈法

- ・糞便や嘔吐物が付着した床 衣類の浸け置き
0.1% 水 1L に対して約 20ml（500ml ペットボトルにキャップ 2 杯弱）
- ・食器等の浸け置き トイレの便座・ドアノブ・手すり・床等
0.02% 水 1L に対して約 4ml（500ml ペットボトルにキャップ 0.5 杯弱）